

令和2年度
事業評価書

～令和4年度予算編成に向けて～

令和3年10月19日

藤枝市議会決算特別委員会

昨年から続いておりますコロナ禍により、職員の皆様はその対応に連日追われておりますが、厳しい業務状況の中においても、市民の健康的で安全な暮らしの為に日々ご尽力いただいていることに、あらためて敬意を表します。

また、このような状況下においても、私たち決算特別委員会の求めに応じ、9月定例会月議会では、決算審査において、長時間の委員会審査にご対応いただいたことに、御礼を申し上げます。皆様と委員との真剣な質疑応答によって、濃厚で深みのある審査になったと考えており、委員会において認定すべきものと決し、本会議でも認定されました。

1,000を超える事業の中から委員会で抽出し、執行部から調書を提出いただいた18事業に関しては、委員会での質疑を踏まえ、各委員がコメントと次年度予算について[拡大・継続・縮小・その他]のいずれの対応をすべきかという判断を付して調書を提出し、委員会内で情報共有しました。

その後の討議の結果、委員全員の意見が一定の方向でまとまっている15の事業に関して、「令和4年度の予算編成に向けての事業評価書」を作成いたしましたので、次年度の予算編成と市政運営の参考として頂きたいと提出いたします。よろしくお願ひ申し上げます。

令和3年10月19日

藤枝市議会決算特別委員会

委員長	鈴木 岳幸
副委員長	松寄 周一
委員	川島美希子
委員	山川 智己
委員	神戸 好伸
委員	平井 登
委員	油井 和行
委員	小林 和彦
委員	大石 信生
委員	大石 保幸

◆事業評価対象事業

No.	部名	課名	事業名
1	総務部	人財育成室	働き方・人づくり改革推進事業費
3	企画創生部	広報課	広報ふじえだ発行費
4	市民協働部	協働政策課	ふれあい広場管理経費
5	市民協働部	協働政策課・岡部支所	協働で元気なまちづくり事業費
6	市民協働部	交通安全・地域安全課	防犯灯設置費補助金
7	スポーツ文化観光部	街道・文化課	市民会館管理運営費
8	健康福祉部	自立支援課	障害者就労推進事業費
10	子ども未来応援局	子ども家庭課	こども食堂実施支援事業費補助金
11	健康福祉部	地域包括ケア推進課	出かけっCARサービス支援事業費
12	産業振興部	産業政策課	藤枝ブランド戦略事業費
13	都市建設部	空き家対策室	仲よし夫婦移住定住促進事業費
14	環境水道部	生活環境課	家庭系生ごみ回収資源化事業費
15	教育部	学校給食課	学校給食地産地消推進事業費
16	教育部	生涯学習課	学校サポーターズクラブ事業費
18	教育部	教育政策課	情報機器整備費

※3つ欠番があるのは、委員会内で評価が割れ、評価書から除外となったため。

事業名：働き方・人づくり改革推進事業費

担当：総務部
人財育成室

決算書ページ P. 120～121

2 款 1 項 3 目 備考No. 4(1)

市政報告書ページ P. 25

※この事業の決算書の款項目等を記入してください。

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)

効率的で生産性が高い仕事の進め方に対する意識・スキルの向上、また、やりがいをもって職務に取り組むための環境整備を目的とする。

ワーク・ライフ・バランスの推進に向け、職場内における働き方改革の意識を啓発し、あらゆる人財が活躍できる組織マネジメントを強化するための職員研修(メンタルヘルス研修、イクボスセミナー等)を実施した。

併せて、多様な働き方を推進するためのテレワークの活用や、女性活躍推進会議(フジェンヌ)からの全ての職員が働きやすい職場環境づくりに向けた提言を受け、働きやすい環境づくりを推進した。

2 事業実施期間

H30 ～ R99

令和2年度 事業開始月及び終了月

令和2年4月～令和3年3月

3 令和2年度予算額(円)

1,650,000

令和2年度決算額(円)

880,000

不用額(円)

770,000

4 令和2年度 進捗状況及び成果

効率的で生産性の高い働き方の意識向上を図るとともに、時間外勤務時間数の縮減やテレワークの活用推進、有給休暇の取得促進を図るなど、柔軟で多様な働き方を促し、働きやすい職場環境づくりに努めたほか、効果的な取組の検討を行った。

- ・女性活躍推進会議：6回開催 働きやすい職場環境づくりに向けた提言
- ・テレワーク専用端末25台(当初5台、R2年12月に20台を追加)
- ・新型コロナウイルス感染症対策としても活用。行政機能の維持とワーク・ライフ・バランスの両立に取り組んだ。R2稼働率40.3%(R1 32.1%)
- ・時間外勤務時間数(月平均)12.9時間(R1 14.0時間)
- ・年次有給休暇平均取得日数 9.6日(R1 8.3日)

5 令和3年度末までの事業計画

ワーク・ライフ・バランスの推進、職場内における働き方改革の意識啓発及び組織マネジメントを強化するための職員研修(メンタルヘルス研修、ハラスメント研修)を実施するほか、女性活躍推進会議の提言による取組項目を実行に移す。

- ・提言による取組項目
全職場を対象とした1on1ミーティングの実施(R3.6月～)
キャリア・サポート相談の実施(R3.6月～)

以下、決算特別委員会 決算審査用

● 事業における課題

<働き方について>

正規職員の時間外勤務時間数の減少や、年次有給休暇取得日数の増加などは評価できるものの、古くからの時代的な悪しき慣習がまだ見受けられる。職員の意識改革や多様性のある働き方などにより、より一層の働きやすい環境づくりが必要である。

<人づくりについて>

コミュニケーション能力、社会変化への対応力など、今後特に必要と思われるものについて、重点的に考える必要がある。

● 令和4年度 予算編成に向けて

女性活躍推進会議(フジェンヌ)からの提言、テレワーク、各種の研修については特に意識した予算編成を求める。

事業名： 広報ふじえだ発行費

担当： 企画創生部
広報課

決算書ページ P. 126～127

2 款 1 項 9 目 備考No. 1(1)

市政報告書ページ P. 39

※この事業の決算書の款項目等を記入してください。

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)

【事業内容】

「広報ふじえだ」を年間24回(毎月5日・20日)発行し、情報発信を行う。

【目的】

市政への理解と信頼を得るため、「広報ふじえだ」で施策や計画などの行政情報と市民生活に関連した身近な情報などを市民に分かり易く伝える。

特に、コロナ禍では、市民が安心して日常生活を送ることができるよう、正確な情報を迅速に伝えていく。

2 事業実施期間

H99 ～ R99

令和2年度 事業開始月及び終了月

令和2年4月～令和3年3月

3 令和2年度予算額(円)

31,300,000

令和2年度決算額(円)

31,131,646

不用額(円)

168,354

4 令和2年度 進捗状況及び成果

本市が取り組む施策や市民生活に必要な情報を分かり易く伝えるための紙面づくりに努めた。特に、コロナ禍を鑑み、市ホームページや市公式SNSと連動して、市民に正確な情報を迅速に伝え、安全で安心な生活を守るための情報発信に努めた。

発行回数 / 年間24回(毎月5日・20日に発行)

1号の頁数 / 12～24頁

総発行部数 / 1,310,200部

1号の発行部数 / 54,600部(平均)

5 令和3年度末までの事業計画

市政への理解と信頼を得るため、市が推進する施策や計画などの行政情報を分かり易く、また、市民生活に密着した身近な情報を発信していく。

特にコロナ禍では、時期を捉えた情報発信が必要とされるため、市民の安全で安心な生活を守るため、正確で、迅速な情報発信に努めていく。また、市ホームページや市公式SNSと連動した情報発信を心掛ける。

広報ふじえだの発行回数や配布方法については、広報の発信方法や自治会の負担軽減策を検討する中で、継続して協議していく。

以下、決算特別委員会 決算審査用

● 事業における課題

月2回の紙面での発行について、インターネットを併用し、紙面での発行回数・部数の削減ができないか検討が必要。また、今後は月1回となる町内会による配布の負担についても、引き続き市民の意見を聞きながらベストな形を考えるべき。

● 令和4年度 予算編成に向けて

上記の課題を克服・検証できるよう、予算編成を求める。

継続9 その他1(費用対効果の検証)

事業名： ふれあい広場管理経費

担当： 市民協働部
協働政策課

決算書ページ P. 122～123

2 款 1 項 5 目 備考No. 3(6)

市政報告書ページ P. 28

※この事業の決算書の款項目等を記入してください。

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)

市内53カ所(整備中2カ所:高田ふれあい広場、築地上ふれあい広場を含む)のふれあい広場があり、主に市街化調整区域にあるが、市街化区域内にも7カ所ある。

広場には、フェンス、トイレ、照明灯などを整備し、施設の修繕、トイレの水洗化、照明灯のLED化を行っている。

令和2年度は、高田町内会からの要望により、ふれあい広場の新設整備のための測量設計業務を実施した。

2 事業実施期間

H99～R99

令和2年度 事業開始月及び終了月

令和2年4月～令和3年3月

3 令和2年度予算額(円)

39,530,000

令和2年度決算額(円)

38,712,681

不用額(円)

817,319

4 令和2年度 進捗状況及び成果

①高田ふれあい広場整備に伴う測量設計業務委託 2,475千円

②トイレの水洗化 45カ所/51カ所 水洗化率88.2%

③照明灯LED化 18カ所/51カ所 LED化率 35.3%

④ふれあい広場用地の借地

高田ふれあい広場(令和2年10月1日～) 令和3年度完成予定

築地上ふれあい広場(令和2年4月1日～) 令和4年度完成予定

5 令和3年度末までの事業計画

①(継続)高田ふれあい広場整備工事

②(新)築地上ふれあい広場整備に係る測量設計業務

③(継続)照明灯のLED化

以下、決算特別委員会 決算審査用

● 事業における課題

管理運営マニュアルが策定されていないため、高齢者中心の利用となり子どもが利用しにくいなど、利用者に偏重があり、すべての世代が利用できるふれあい広場となっていない。

● 令和4年度 予算編成に向けて

引き続き、トイレの水洗化や照明灯のLED化を計画的に進めるとともに、現在の箇所数の確保と新たな整備に努めること。

事業名： 協働で元気なまちづくり事業費

担当： 市民協働部
協働政策課・岡部支所

決算書ページ P. 122～123

2 款 1 項 5 目 備考No. 4(1)

市政報告書ページ P. 29～30

※この事業の決算書の款項目等を記入してください。

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)

- ①地域の元気創造事業
地域住民との協働による地域の元気づくりにつながる事業
- ②地域の安全安心実現事業
地域住民の安全安心に関する事業、危険個所等への緊急対応に関する事業
- ③地域の課題解決事業
早急に解決すべき課題に関する事業
- ④先進的な地域の活動に関する事業
他の地域にない先進的な地域活動に対する支援事業

2 事業実施期間

H99～R99

令和2年度 事業開始月及び終了月

令和2年4月～令和3年3月

3 令和2年度予算額(円)

11,000,000

令和2年度決算額(円)

10,085,953

不用額(円)

914,047

4 令和2年度 進捗状況及び成果

地域の主体的な取り組みを支援し、地域の元気創造や安全安心、地域課題解決に迅速に対応した。

また、各地区の事業立案の参考となるよう、「協働で元気なまちづくり事業活用ガイドブック」に前年度の実施事業をまとめた。

- ①地域の元気創造事業 7件
②地域の安全安心実現事業 31件
③地域の課題解決対応事業 23件 計61件

5 令和3年度末までの事業計画

地区交流センター及び岡部支所が地域の窓口となり、地域が企画立案した地域の抱える課題解決に向けた提案に対して柔軟に支援していく。また、課題である先進的な事業の掘り起こしに取り組む。

以下、決算特別委員会 決算審査用

● 事業における課題

真に地域が活性化する事業が生まれるような支援が必要。また、ガイドブックの存在について周知が必要と考える。また、「先進的な地域の活動に関する事業」について、件数が増えるような工夫・支援が求められる。

● 令和4年度 予算編成に向けて

地域コミュニティの活性化につながる予算編成を求める。

事業名： 防犯灯設置費補助金

担当： 市民協働部
交通安全・地域安全課決算書ページ P. 120～123
市政報告書ページ P. 27

2 款 1 項 5 目 備考No. 3(2)

※この事業の決算書の款項目等を記入してください。

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)

自治会・町内会が設置する防犯灯について、設置、修繕、LED灯への切り替えに対し補助金を交付する。

【補助率・補助額】

新設(共架) 定額・15,000円/本
 新設(ポール) 定額・25,000円/本
 修繕 補助率1/2・(上限)7,000円/本
 LED切替 補助率2/3・(上限)15,000円/本
 ※新設、修繕はLED灯のみ補助対象

2 事業実施期間

H99 ～ R99

令和2年度 事業開始月及び終了月

令和2年4月～令和3年3月

3 令和2年度予算額(円)

8,000,000

令和2年度決算額(円)

6,222,300

不用額(円)

1,777,700

4 令和2年度 進捗状況及び成果

新設(共架) 123灯 1,845,000円
 新設(ポール) 16灯 400,000円
 修繕 53灯 319,400円
 LED切替 262灯 3,657,900円

5 令和3年度末までの事業計画

引き続き、犯罪防止や交通安全対策のために設置する防犯灯に対し補助金を交付し、自治会、町内会の負担軽減を図る。
 また、防犯灯のLED化を推進し、省エネルギー化の推進と電気料等の維持管理経費の削減を図る。

以下、決算特別委員会 決算審査用

● 事業における課題

防犯の観点だけでなく、交通事故防止の観点からも、防犯灯は『公共財』と位置づけ、地域の安全確保のため、市が主体となって設置すべきと考える。

● 令和4年度 予算編成に向けて

防犯灯LED化100%の早期達成に向け予算を増額するとともに、『地域の死角』をなくすため、LED灯新設に対する補助率アップを望む。

令和2年度事業評価・決算審査用調書

事業名： 市民会館管理運営費

担当： スポーツ文化観光部
街道・文化課

決算書ページ P. 286～287

10 款 4 項 9 目 備考No. 1(1)

市政報告書ページ P. 371

※この事業の決算書の款項目等を記入してください。

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)

施設の設置目的「市民文化の向上と芸術文化の振興」の達成のため、本市の芸術文化活動拠点として、市民に文化活動の場と良質な文化に触れる機会を提供する。指定管理者制度による民間のノウハウを最大限に活用した効率的かつ効果的な管理運営を行うほか、施設建物や主要設備、重要備品の適切な維持管理と計画的な更新により、安全で安定した施設運営を目指す。

指定管理者 株式会社アス・藤枝オリコミピーアールグループ(平成30年4月～令和5年3月)

令和2年度目標 延べ利用者数108,000人

2 事業実施期間

H99～R99

令和2年度 事業開始月及び終了月

令和2年4月～令和3年3月

3 令和2年度予算額(円)

58,107,000

令和2年度決算額(円)

57,850,500

不用額(円)

256,500

4 令和2年度 進捗状況及び成果

年度当初より新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受け、22日間の臨時休館(4/18-5/10)を行ったほか、指定管理者による自主・指定事業の多くが延期・中止を余儀なくされ、施設利用者数が減少した。新型コロナ対策として、サーマルカメラ導入、利用料金減免施策を実施し、催し物も内容変更や入場制限を含めた感染対策を行いながら段階的に再開したところ、年度後半には利用者数の回復が見られた。その他、予定していた備品更新や小工事を実施したほか急遽必要の生じた修繕等を速やかに実施し、安全な利用環境の維持に努めた。

最終的な延べ利用者数は36,484人(前年度比44%・目標達成率34%)で当初目標値を下回ったものの、コロナ禍において感染症対策を実施しながら市民に文化活動の場の提供と、文化に触れる機会を提供した点は評価できる。

5 令和3年度末までの事業計画

令和2年度から延期した催し物を感染対策を徹底して実施する。
舞台電動吊物装置滑車交換工事等、引き続き計画的な設備更新と維持管理を行う。

以下、決算特別委員会 決算審査用

● 事業における課題

令和2年度はコロナ禍という厳しい状況であったが、適切な感染症対策により、感染者を出さなかったことなど、評価に値する。指定管理者制度については、利便性の向上に資する類似施設の指定管理料や委託内容の研究が求められる。

● 令和4年度 予算編成に向けて

コロナ前の利用者数を想定した予算編成を求める。
特に、設備や備品等について、経年劣化や摩耗状況等を加味した更新を求める。

事業名： 障害者就労推進事業費

担当： 健康福祉部
自立支援課

決算書ページ P. 154～155

3 款 1 項 1 目 備考No. 3(2)

市政報告書ページ P. 101

※この事業の決算書の款項目等を記入してください。

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)

【農福連携事業】

高齢化等による就労者不足の問題を抱える農業者と、就労先の不足及び工賃の向上を望む障害者をマッチングさせることで、障害者の将来の一般就労に結び付ける。

自立支援課と農林課が、障害福祉事業所と農業者の間に入り、農業者の要望やニーズ等を確認しながら、障害福祉事業所に通所する障害者を対象に実施した。

【テレワークオフィス支援事業】

障害者の就労と企業の障害者雇用を支援するため「テレワークオフィス」を運営する法人に対して補助金を交付する。企業、障害者双方にメリットのある事業として実施した。

2 事業実施期間

令和2年度 事業開始月及び終了月

令和元年～

令和2年4月～令和3年3月

3 令和2年度予算額(円)

令和2年度決算額(円)

不用額(円)

3,800,000

1,122,314

2,677,686

4 令和2年度 進捗状況及び成果

【農福連携事業】

トマト農家で2回実施

1回目 6/15-6/26(60時間) 6人の障害者が、芽かき、下葉取りなどを実施

2回目 8/17-8/28(60時間) 7人の障害者が、土入れ替え、搬出整理などを実施

【テレワークオフィス支援事業】

令和2年度末現在、6人(男4人、女2人)の障害者が5つの企業(市内1、県内1、県外3)の職員として、テレワークオフィスに勤務。

5 令和3年度末までの事業計画

【農福連携事業】

マッチング件数 4件

【テレワークオフィス支援事業】

新規利用者 4人

以下、決算特別委員会 決算審査用

● 事業における課題

農福連携やテレワークに加え、人材を募集している事業を幅広くスカウティングし、障害者就労推進の裾野を広げていくことが重要。

● 令和4年度 予算編成に向けて

引き続き、支援事業者の拡大と継続に努めていくとともに、障害者とのマッチングが円滑に進められるような取り組みを求める。

事業名： こども食堂実施支援事業費補助金	担当： 子ども未来応援局 子ども家庭課	決算書ページ P. 176～177	3 款 3 項 3 目	備考No. 5(1)
		市政報告書ページ P. 155	※この事業の決算書の款項目等を記入してください。	

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)

【事業内容】
 貧困世帯やひとり親家庭が増加する中、子どもが健やかに育成されるよう一人で食事をする子どもに食事を通じて子どもの居場所を提供する団体に対し、事業費を補助する。

【補助額】
 1団体15万円/年を上限(令和元年度は1団体10万円/年が上限)

2 事業実施期間	令和2年度 事業開始月及び終了月	
H30～	令和2年4月～令和3年3月	
3 令和2年度予算額(円)	令和2年度決算額(円)	不用額(円)
600,000	300,000	300,000

4 令和2年度 進捗状況及び成果

こども食堂を実施した2団体へ補助金を交付した。

【実施団体】

- ・かいらハウス
 開催回数：11回 参加人数：439人(子ども186人、保護者91人、高齢者等162人)
- ・NPO法人W.Coまつぼっくり
 開催回数：18回 参加人数：891人(子ども492人、保護者399人)

※新型コロナウイルス感染症の影響で、活動をする団体が4団体から2団体へと減少した。

5 令和3年度末までの事業計画

こどもが健やかに育成される環境整備及びこどもの見守り体制の強化を図ることを目的に、今までの居場所型子ども食堂実施団体に加え、宅配型子ども食堂実施団体へも事業費を補助する。

【補助額】

- 居場所型子ども食堂：15万円/年を上限
- 宅配型子ども食堂：12万円/年を上限



以下、決算特別委員会 決算審査用

● **事業における課題**
 当初4団体への補助で予算を編成していたが、決算では2団体に減少しているため、その要因を分析・把握すること。
 また、事業費補助額や活動団体への金銭的支援以外の部分においても、貧困家庭への確実な支援につながっているのかなど、実情や活動団体の希望に沿った支援の充実が必要と考える。

● **令和4年度 予算編成に向けて**
 活動団体を増やす努力とともに、補助額も増額する方向で検討を求める。

拡大6 継続4

事業名： 出かけっCARサービス支援事業費	担当： 健康福祉部 地域包括ケア推進課	決算書ページ P. 166～167	3 款 2 項 1 目	備考No. 7(1)
		市政報告書ページ P. 121	※この事業の決算書の款項目等を記入してください。	

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)
 2025年以降の超高齢社会に対応するため、地域住民主体の支え合いの地域づくりを推進し、高齢者の日常生活において必要な移動の支援を行う地域団体等の活動を支援する。

事業費内訳 単位:円

委託料	車両リース、自動車保険、ボランティア保険代(市社協へ委託:4地区)	2,614,240
消耗品	マグネットシート、アルコールチェッカー等	69,528
計		2,683,768

2 事業実施期間 令和2年度 事業開始月及び終了月
 令和元年～ 令和2年4月～令和3年3月

3 令和2年度予算額(円) 2,700,000
令和2年度決算額(円) 2,683,768
不用額(円) 16,232

4 令和2年度 進捗状況及び成果
 令和元年度から開始した西益津・葉梨地区への支援に加え、令和2年10月から大洲地区、令和3年3月から高洲地区への支援を開始した。

地区	延運行回数	延利用者数	ボランティア数
西益津	310	1,104	36
葉梨	170	330	21
大洲(R2年10月～)	95	347	32
高洲(R3年3月～)	14	20	19
計	589	1,801	108

5 令和3年度末までの事業計画
 現在支援している4地区へ引き続き支援するとともに、新たに事業を始める地区への支援を行う。



以下、決算特別委員会 決算審査用

● **事業における課題**
 高齢化が進む中であるが、ボランティアの確保に努めるとともに、安全安心な運営が継続出来る仕組み作りが課題と考える。

● **令和4年度 予算編成に向けて**
 現在支援している4地区への支援継続とともに、新たな地区への拡大を求める。

拡大7 継続3

事業名： 藤枝ブランド戦略事業費

担当： 産業振興部
産業政策課

決算書ページ P. 228～229

7 款 1 項 2 目 備考No. 5(1)

市政報告書ページ P. 244

※この事業の決算書の款項目等を記入してください。

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)

本市の特産品等のブランド力の向上と新規販路の開拓を目指し、「藤枝セレクション」の認定及びPRや、海外販路開拓として台湾をターゲットとし、食品展示会「フード台北」等への出展の支援を実施している。

2 事業実施期間

H99 ～ R99

令和2年度 事業開始月及び終了月

令和2年4月～令和3年3月

3 令和2年度予算額(円)

2, 170, 000

令和2年度決算額(円)

874, 861

不用額(円)

1, 295, 139

4 令和2年度 進捗状況及び成果

本市の産品11品を、市民投票などを経て「藤枝セレクション2020」に認定し、7月23日に「玉露の里ファーマーズマーケット」に出展・PRしたほか、8月にキャッシュレス決済を活用した消費喚起・販売促進キャンペーンに合わせ「がんばれ藤枝！藤枝セレクションフェア」を観光案内所で開催し、PRに努めた。

また、しずおか中部5市2町連携中枢都市圏の大学連携事業(地域課題解決事業)にエントリーし、藤枝セレクションのブランド力向上と発信力強化についての調査研究を静岡産業大学と連携して取り組んだ。

海外販路開拓事業については、12月に開催された「フード台北2020」に、5事業者24品の商品展示及び現地手配スタッフによるPRを実施し、2事業者で商談が成立した。

5 令和3年度末までの事業計画

藤枝セレクションについて、R2年度の調査研究結果も踏まえ、セレクションの認定数を3商品程度とするほか、新ロゴマークの作成、認定特典の充実を図るなどブラッシュアップし、「藤枝セレクション2022」を募集、審査を実施する。

海外販路開拓事業については、新型コロナウイルスの影響を注視しながら、R2年度の実績を踏まえ、効果的に実施していく。(6月に開催予定の「フード台北2021」は10月に延期が決定)

以下、決算特別委員会 決算審査用**● 事業における課題**

藤枝セレクションに関しては、新規の認定と同時に、既存のものの継続した周知・啓発にも注力し、実績によっては見直すことも視野に入れながら、価値の高まりにも期待したい。

● 令和4年度 予算編成に向けて

コロナ禍による影響が多々あったと考えられるので、藤枝セレクション2021アワードとして未来に続くよう働きかけ、アフターコロナの景気回復に向け、継続とともに販路拡大を求めらる。

事業名： 仲良し夫婦移住定住促進事業費	担当： 都市建設部 空き家対策室	決算書ページ P. 248～249	8 款 4 項 1 目	備考No. 6(2)
		市政報告書ページ P. 287	※この事業の決算書の款項目等を記入してください。	

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入)

【目的】
藤枝市への若年者の移住にかかる経済的負担の軽減や、地域における人口対策を強化するため。

【事業内容】
市外又は市内の賃貸住宅に居住する仲良し夫婦世帯が、金融機関より融資を受けて市内に新築住宅を建築又は購入する経費(新築住宅取得事業)や、市内の新築住宅に移転した際の引越経費(新築住宅移転事業 ※市外に限る。)に対して補助金を交付した。
また、市内の賃貸住宅に移転する際に要する引越し及び賃貸借に関する経費(賃貸住宅移転事業 ※市外に限る。)に対しても補助金を交付した。
※仲良し夫婦世帯:夫婦とも40歳未満の結婚後3年以内の子育て前の夫婦世帯

【補助金額】
新築住宅取得事業 市外世帯:50万円(上限額) 市内世帯:30万円(上限額)
新築住宅移転事業・賃貸住宅移転事業 市外世帯:50万円(上限額)

2 事業実施期間 令和2年度 事業開始月及び終了月
R 1 ～ 令和2年4月～令和3年3月

3 令和2年度予算額(円) 令和2年度決算額(円) 不用額(円)
20,000,000 19,020,000 980,000

4 令和2年度 進捗状況及び成果

新築住宅取得事業:40件(前年度:13件)、新築住宅移転事業:13件(前年度:5件)、賃貸住宅移転事業:14件(前年度:5件)に対して補助金を交付し、54世帯108人(前年度:18世帯36人)の仲良し夫婦世帯の移住定住を図ることができた。

【補助金交付内訳】

種別	対象世帯	交付件数	対象世帯数	世帯人数
新築住宅取得事業	市内世帯	19件	19世帯	38人
	市外世帯	21件	21世帯	42人
新築住宅移転事業	市外世帯	13件		
賃貸住宅移転事業	市外世帯	14件	14世帯	28人
			54世帯	108世帯

※「新築住宅移転事業」交付者は全て「新築住宅取得事業」を交付しているため、世帯数・世帯人数は合わせて算出した。

5 令和3年度末までの事業計画

新築住宅取得事業50件、新築住宅移転事業25件、賃貸住宅移転事業25件に対する補助金交付を実施し、仲良し夫婦世帯の移住定住の促進を図る。

以下、決算特別委員会 決算審査用

● 事業における課題
事業効果が高いと評価するので周知・啓発を継続すること。

● 令和4年度 予算編成に向けて
事業の周知を徹底したうえで補助対象者を増やし、継続拡大を求める。

拡大4 継続6

事業名： 家庭系生ごみ回収資源化事業費	担当： 環境水道部 生活環境課	決算書ページ P. 200～201	4 款 2 項 2 目	備考No. 3(2)
		市政報告書ページ P. 197	※この事業の決算書の款項目等を記入してください。	

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

<p>1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入) 循環型社会の構築のため、家庭系燃やすごみの約6割(重量ベース)を占める生ごみを分別・収集し、堆肥として再利用することにより資源の有効利用を図る。 また、新クリーンセンターが稼働する令和9年度のごみ排出目標値を達成するため、生ごみの分別収集を推進することで、燃やすごみの減量に取り組む。</p> <p>【目標値】令和2年度:18,000世帯</p>		
<p>2 事業実施期間</p> <p>H23～R99</p>	<p>令和2年度 事業開始月及び終了月</p> <p>令和2年4月～令和3年3月</p>	
<p>3 令和2年度予算額(円)</p> <p>75,000,000</p>	<p>令和2年度決算額(円)</p> <p>74,047,468</p>	<p>不用額(円)</p> <p>952,532</p>
<p>4 令和2年度 進捗状況及び成果 生ごみの分別については、収集地区の拡大により令和2年度末で約18,000世帯で実施し、1090.9tを資源化することができ、前年度比で124.3t、12.8%の増となった。 その結果、分別収集前の平成22年度に24,907tあった燃やすごみは、令和2年度末で21,790tとなり比較して3,117t、13.0%の減量が図られた。</p>		
<p>5 令和3年度末までの事業計画 令和3年度より生ごみの収集地区を拡大し(原・木町地区:2,914世帯)、さらなる生ごみの資源化に取り組んでいく。 今後、新設される(仮称)クリーンセンターの効率的な稼働を図っていくためには、燃やすごみの減量化を推進する必要があり、引き続き生ごみの分別の徹底と収集量の増加に努め、浄化センターでの生ごみ受け入れに向け、関係課で計画的に取り組んでいく。</p>		



<p>以下、決算特別委員会 決算審査用</p> <p>● 事業における課題 更なる対象地域の拡大に向け、引き続き生ごみ処理を行う民間業者に臭気対策の徹底を求める必要がある。</p>
<p>● 令和4年度 予算編成に向けて 今後、分別収集をお願いする対象地域について、具体的なスケジュールの策定を求める。</p>
<p>拡大5 継続5</p>

事業名： 学校給食地産地消推進事業費	担当： 教育部 学校給食課	決算書ページ P. 292～293	10 款 5 項 2 目	備考No. 2(2)
		市政報告書ページ P. 392	※この事業の決算書の款項目等を記入してください。	

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入) 児童・生徒が食に関する望ましい食習慣を身に付け、効果的な健康づくりと地元の農産物を安定的に購入する体制を作るとともに、地域に対する理解や愛着に結びつくよう食育の一環として推進していく。 ※根拠：学校給食法、食育基本法、市地産地消の推進に関する条例、市食育推進計画		
2 事業実施期間 H23～	令和2年度 事業開始月及び終了月 令和2年4月～令和3年3月	
3 令和2年度予算額(円) 360,000	令和2年度決算額(円) 215,051	不用額(円) 144,949
4 令和2年度 進捗状況及び成果 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地産食材を利用し、生産者のお話からも学ぶ「親子料理教室」を中止とした。 ・学校と連携を図り栄養教諭による地産地消学習や飯缶給食開始を含め、食育の指導を行った。ただし、感染拡大防止のため、制限を受け食育指導の回数は前年度よりも減少した。 ・コロナによる休校中、藤枝市動画ポータルサイト「藤枝ちゃんねる」で小松菜やチンゲン菜を使った「学校給食をつくってみよう」動画を掲載し、休校中の食育啓発を図った。		
令和3年度末までの事業計画 ・JA大井川と協働により地元野菜の納入の促進を図るとともに、直接納入する生産者の確保も進める。 ・学校と連携を図っての食育指導を推進する。地元食材を使用した小学生による給食メニューコンテスト「えだメシ」を開催し、地元食材を知り、栄養に興味をもつきっかけづくりを進める。		



以下、決算特別委員会 決算審査用 ● 事業における課題 地産地消率の向上を目指し、生産者との連携を含めた食材の確保が課題と考える。
● 令和4年度 予算編成に向けて 生産者の確保、食材の安定供給につなげるための予算の確保を求める。
拡大6 継続4

事業名： 学校サポーターズクラブ事業費	担当： 教育部 生涯学習課	決算書ページ P. 274～275	10 款 4 項 1 目	備考No. 2(3)
		市政報告書ページ P. 350	※この事業の決算書の款項目等を記入してください。	

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

<p>1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入) 各中学校区に配置した学校と地域をつなぐコーディネーターが、学校の活動要請に応じて学校サポーターを手配・招集。招集に応じた学校サポーターは授業支援、環境整備、学校行事等への協力などの活動を行う。 地域住民の知識や技能を活かした「地域の教育力」を学校教育へ活用することで、地域ぐるみで子どもたちの学びや成長を支える環境を作ることを目的とする。</p> <p>【第5次総合計画目標値】 学校サポーターズクラブ活動事例数 令和2年度 63件</p>		
<p>2 事業実施期間</p> <p>平成22年～</p>	<p>令和2年度 事業開始月及び終了月</p> <p>令和2年4月～令和3年3月</p>	
<p>3 令和2年度予算額(円)</p> <p>2,300,000</p>	<p>令和2年度決算額(円)</p> <p>1,397,204</p>	<p>不用額(円)</p> <p>902,796</p>
<p>4 令和2年度 進捗状況及び成果 各中学校区にコーディネーターを1名～3名(計22名)、市内全体を統括する統括コーディネーターを1名配置。 小学校17校、中学校6校で活動要請を受けたコーディネーターは、活動内容に応じて学校サポーターを手配・招集し、活動事例数93件、延べ585回の活動を行った。 令和2年度活動事例数が目標を大きく上回ったことは、学校の多様化する活動要請に学校サポーターが応じてきていることの現れであり、地域の人が地域の子どもの育てる環境づくりが推進されている。 また、学校サポーターにとっても、知識や経験を活かす場が広がり、生きがいづくりにつながっている。</p>		
<p>5 令和3年度末までの事業計画 全ての小・中学校に学校サポーターズクラブの積極的な活用を促すとともに、市民への認知度を高め、活動回数及び学校サポーター従事者数の拡大につなげる。</p> <p>【第6次総合計画目標値】 令和3年度活動回数 854回</p>		



<p>以下、決算特別委員会 決算審査用</p> <p>● 事業における課題 各中学校区に配置されたコーディネーターの努力により、地域ぐるみで地域の子どもの育てる環境づくりができています。今後は、事業継続に向け、サポーターの継承と新たな人材の確保が必要となる。</p> <p>● 令和4年度 予算編成に向けて 「学校サポーターズクラブ」のニーズは今後ますます増加していくと考えられるため、引き続き、サポーターの維持・確保と効果的な活用に努めていただくとともに、地域の特性に応じたサポート活動ができる体制の構築を求める。</p> <p>拡大2 継続8</p>
--

事業名： 情報機器整備費	教育部	決算書ページ P. 268～269	10 款 2 項 1 目	備考No. 2(2)
	担当： 教育政策課	270～271		
		市政報告書ページ P. 334		
		342		※この事業の決算書の款項目等を記入してください。

※事業が複数ある場合は、シートをコピーしてください。

1 令和2年度 事業内容及び目的(数値目標があれば記入) 各小中学校へ整備している「校務用パソコン (H29～)」、「PC教室用パソコン (H30～)」、「図書管理用PC (R1～)」のリース代である。 校務用パソコンは教職員が主に成績処理や日常の校務で使用する端末である。 PC教室用パソコンは各校のPC教室へ設置している端末である。 図書管理用パソコンは各校の学校図書館に設置しており、学校図書館司書が蔵書管理業務に使用する端末と、児童生徒の貸出用に使用する端末で構成されている。		
事業実施期間 H29～R6	令和2年度 事業開始月及び終了月 令和2年4月～令和3年3月	
3 令和2年度予算額(円) 小学校費 66,147,000 中学校費 38,910,000	令和2年度決算額(円) 66,146,592 38,909,760	不用額(円) 408 240
4 令和2年度 進捗状況及び成果 大きなトラブルや不具合もなく、安定して稼働している。 校務用パソコンとPC教室用パソコンは、コロナ禍においてWEB会議や遠隔授業など活用の幅がますます広がっている。 図書管理用パソコンは、調べ学習での活用が増えるなど、令和2年度より学校図書館司書が全校配置され特色ある学校図書館づくりが進んでいる。		
5 令和3年度末までの事業計画 令和3年度も令和2年度と同様の事業内容を予定している。 それぞれ5年間のリース物件であるが、本年度中に導入から4年が経過する機器があり、徐々に故障が増えてくる可能性がある。各機器の状態について、保守業者と連携しながら機器の修繕や更新の見極めを行っていく。		



以下、決算特別委員会 決算審査用 <ul style="list-style-type: none"> ● 事業における課題 機器のリース期間が5年となっているが、用途によっては、スペックが重要視されないものもあると思われ、5年が最適な期間とは限らないため、用途に応じた柔軟な対応が必要と考える。 ● 令和4年度 予算編成に向けて 機器の整備状況を的確に把握し、リース期間等は適切な運用を行い、計画的な更新に努めること。
継続10